

藤岡警察署協議会議事録

(令和5年度第3回定例会議)

開催日時	会議 令和5年12月12日(火) 午後4時から午後5時までの間		
開催場所	藤岡警察署会議室		
出席者	委員 (定数7人)	山口会長、吉野委員、黒田委員 榊原委員、金谷委員、黒澤委員	計 6人
	警察	木村署長、田中副署長、星会計課長、横塚地域課長、 小林刑事課長、島村警備課長、警務係長	計 7人
	その他		

議 事 の 概 要

1 挨拶概要

(1) 会長挨拶

早いもので、今年も師走となり、年末の慌ただしい時季を迎えたが、本年最後の定例会議を開催できたことに対し感謝申し上げます。

また会員の皆様には、先日12月5日早朝の寒い中、藤岡市中栗須地内の信号交差点において、高校生と一緒に自転車を利用する学生に対して、自転車ヘルメットの着用や自転車運転のマナーアップを目的とした街頭指導に御協力いただいたことに感謝を申し上げます。

本日は、前回定例会議において藤岡警察署長から諮問のあった「交通事故の未然防止に資する各種警察措置」について、会員から意見をいただいたので藤岡署へ答申させていただき、是非今後の活動に生かし、交通事故防止に役立てていただければと思う。

本日も、協議会が有意義なものとなるよう、御協力をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

(2) 署長挨拶

本日は、年末の忙しい中、令和5年度藤岡警察署協議会第3回定例会議に出席をいただき感謝申し上げます。

皆様方には、平素、警察行政各般にわたり、深い御理解と御協力をいただいていることに、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

また先日は、冬の県民交通安全運動期間中の街頭指導に、協力をいただいたことに、心から感謝を申し上げます。

さて、当署管内の治安情勢ですが、前回定例会議以降、交通死亡事故の発生はなかったが、刑法犯認知件数は増加傾向にあり、特殊詐欺被害も増加傾向で、年末年始を迎えるにあたり、私以下署員一丸となって、管内の治安維持に努めているところである。

皆様方には引き続き、警察行政に関する意見や要望等をいただくとともに、今後の更

なる協力をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2 定足数報告（会長）

委員定数7人のうち6人の出席があり、定足数を満たし、開催及び議決が有効である旨を報告した。

3 管内概況説明（説明者 警察署長）

令和5年10月末の管内概況

- (1) 刑法犯認知・検挙状況
- (2) 管内で発生した主な犯罪
- (3) 少年犯罪検挙人員状況
- (4) 特殊詐欺認知状況
- (5) 交通事故発生状況
- (6) 110番通報受理状況
- (7) 警察署別治安情勢
- (8) 外国人に対する防犯・交通講話実施の推移
- (9) 令和5年10月～11月の主な活動

4 意見・要望等（○～委員、●～署長等）

○ 最近、空き家等に対する空き巣事件が多いと聞いている。空き家の所有者に対する指導や効果的な防犯対策はあるか。〔質問〕

● 管内における空き巣事案は増加傾向にある。当署としては防犯対策の一環として、空き家に対する警戒の強化や防犯ポスター等の作成を考えている。なお、不審者や不審車両の目撃があれば警察に相談していただき警察の捜査に協力していただきたい。〔回答〕

○ 特殊詐欺については、未だに不審な電話番号からの着信が頻繁に来ている。また、携帯電話にも、利用料金が未納であり放置すると携帯が使えなくなるといった不審メールの着信もあるようだ。高齢者などは、電話が鳴るとどうしても電話に出てしまう傾向があり、電話機に取り付ける特殊詐欺電話対策装置の設置も効果があるようだが、先日、群馬県警察で特殊詐欺事件の犯人からの電話音声が開示していたが、現実味があって防犯効果はあると感じた。〔意見〕

○ 信号機のある交差点について、右折用の矢印信号を設置してもらいたいという地域住民からの希望があった場合はどう対応してもらえるのか〔質問〕

● 信号機の設置等については、要望があれば検討していく。要望箇所個々の道路の状況を調査した上で判断していくことになる。〔回答〕

○ 警察の仕事は勤務面でハードなイメージがある。現在、社会全般で働き方改革が進められているが、警察でも改革が進められているのか。昔のイメージのままだと、今後の警察官の採用に影響があるのではないか〔質問〕

● 今は、警察でもワークライフバランスを取り入れた働き方改革が進められている。夏季休暇等の特別休暇、年間を通じての有給休暇も積極的に取得されている。良い仕事をするためには休暇を取り、リフレッシュしていくことも大切であるとの考えも浸透してきている。

また、居住地についての制限も改められ、勤務場所には自宅から通勤できるよう配慮もされてきている。単身赴任者もほぼいない状況であり、勤務環境は過去に比べて相当改善されていると思われる。〔回答〕

5 諮問に対する答申

前回定例会議において、安全な交通社会を目指して、歩行者等が関係する交通事故を防止するために、より効果的で実効性のある方策について、委員に諮っていたところ、次の

とおりの答申として報告がされた。

(1) あらゆる媒体を活用しての交通事故状況等の情報発信

交通事故の発生現状や注意すべきポイントについて、メールや新聞の折り込みチラシの一部、回覧板用の広報誌作成、電光掲示板への表示、ケーブルテレビ活用など、あらゆる媒体を活用し、多くの人が情報共有ができる環境を作り、タイムリーな情報発信に努めていただきたい。

(2) パトカーを活用した広報活動

情報発信にあっては、媒体利用の他に従来からのパトカーによる広報活動での音声による情報発信も効果的な手段であり、さらには広報を行いながらのパトカーの巡回は、道路を通行している車や歩行者等をはじめ、周辺住人に対しても安心感を与える活動であるため、活動の拡充をお願いしたい。

(3) 幅広い世代と事業所に対する安全教育の充実化

あらゆる世代に対しての安全教育による啓発活動が必要と思われるが、一定の時期を経過すると交通安全教育を受ける機会が減っているという印象がある。

学校や高齢者に対してはもちろんであるが、さまざまなコミュニティーの場や事業所に対しても安全教室を実施することも効果的と思われるので、引き続き啓発活動をお願いしたい。

(4) 自動車運転手、歩行者等への注意喚起

自動車運転手に対する歩行者への注意喚起はもちろんであるが、歩行者に対しても、横断に関する注意、夜間の反射材着用の効果と着用促進を広報や安全教育で広く周知させることも効果が期待できると思われるため、呼びかけを強化されたい。

(5) 交通環境の点検、補修、増設の推進

交通施設の点検を実施し、道路標示摩耗箇所への補修、見えにくい交差点等の改良、街路灯の増設整備といった環境を是正することで交通事故を未然に防ぐことができると認められるため、交通環境の点検、補修、増設等を推進されたい。

6 その他

次回定例会議は、事務局としては、2月中の開催を検討していることから、事務局から改めて日程調整することとなった。